

ENJOY! DIY

飾っておきたくなる、 カラフルなアフリカ布の鍋敷き

ENJOY! DIY vol.60



熱いお鍋をテーブルに置くときなどに欠かせない鍋敷き。半丸棒とお気に入りのお布をボンドで接着しただけのプチDIYなので簡単。カラフルなアフリカンテストのファブリックで、使わないときもインテリアとして飾っておきたくなる鍋敷きです。



飾っておきたくなる、
カラフルなアフリカ布の鍋敷き



用意するもの

材料

- 丸棒（直径18mm）
→16cm 1本
- 半丸棒（直径18mm）
→16cm 6本
→14cm 1本
- ファブリック
- 皮ひも
- 両面ハトメ



工具

- 木工用ボンド
- ノコギリ
- ハトメパンチ



①半丸棒や丸棒、布をカットする

鍋敷きの大きさを決め、布に合う長さの半丸棒を7本、丸棒を1本用意します。



②布に丸棒と半丸棒を仮置きする

布に丸棒1本と半丸棒を7本仮置きします。ハトメとずらして置く半丸棒も、位置や長さを確認して、カットします。



③布の左右の端を折る

半丸棒の長さに合わせて、布の端を折り返し、木工用ボンドで接着します。



④ 布の端に丸棒を巻き込んで接着する

木工用ボンドをたっぷり塗ったら、丸棒を当て、布でしっかり巻き込んでいきます。



⑤ 半丸棒を並べて布に接着する

布全体に木工用ボンドをたっぷり塗ります。続けて半丸棒を6本並べて接着します。



⑥布を折り返す

布の端を折り返して半丸棒を接着します。ハトメをつける部分をずらしておきます。



⑦布端にハサミで穴をあける

皮ひもを通す、穴をあけます。



⑧両面ハトメをつける

ハトメパンチを使って、両面ハトメをつけます。



ハトメ



⑨表裏が美しい両面ハトメ

穴が補強され、アクセントになるハトメ。



裏面もキレイに仕上がります。



⑩完成

木のナチュラルな風合いの鍋敷きの完成です。ファブリックは熱に強いコットン素材などを使えば、両面使いも可能です。

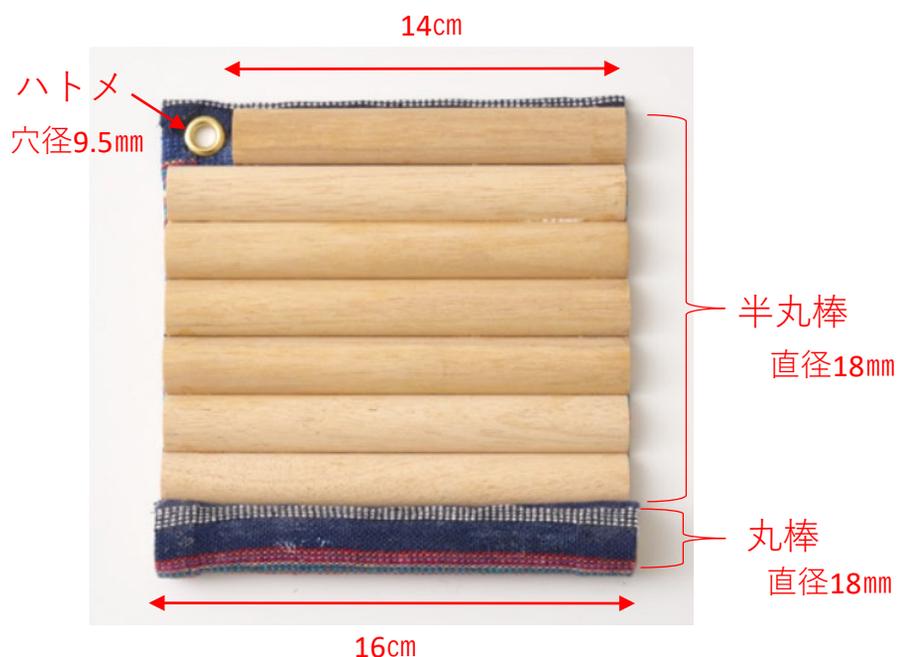


⑪穴に皮ひもを通す

皮ひもを通しておけば、壁に吊り下げることができます。

POINT

●丸棒、半丸棒のサイズについて



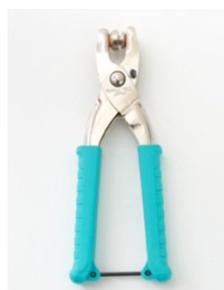
●ファブリックのサイズについて

●ハトメについて



ハトメ（リング状の金具）は、ひもなどを通す穴の補強やアクセントに使います。

鍋敷きの出来上がりのサイズは16cm角ですが、丸棒で巻き込んだり、布端は折り込んで始末するので、少し余分に必要です。



ハトメパンチを使って、両面ハトメをつけます。